

# ともえ 2040

発行：みよし学園コミュニティ・スクール  
(事務局：市立三次中学校)  
令和5年12月1日  
No. 45

## 「グッドタウンみよし」の充実深化をめざして 三次中 ～コミュニティ・スクールキャリア教育部会との連携・協働を通して～

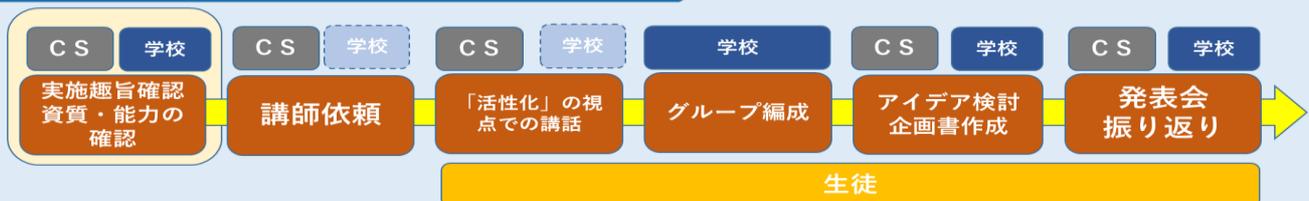
三次中学校1年生では、「ふるさと・みよし」を誇りに、みよしに生きる人材としての自覚と発展に寄与しようとする意欲を持つことを目的として、「グッドタウンみよし」という学習を展開しています。

- ・三次の特色や自然、産業について知る。
- ・三次の良いところや誇れるものを生かし、課題を改善していくための自分なりの取組案を考える。

⇒現在の三次の経済発展の現状を踏まえ、三次の活性化について企画案をまとめる。



### コミュニティ・スクール(CS)を生かした活動の流れ



特に本年度は、昨年度1年生(現2年生)が考えた企画書を現1年生が引き継ぎ、2学期さらにより良いものにブラッシュアップしていくために、取組を始める前にCSキャリア教育部会で大切な視点を熟議いただきました。

現在、「アイデア検討企画書作成」の段階で、自然、もののけ、食べ物、商店街、小路の大きく5つの分野(10グループ)に分かれて、地域の方の中からそれぞれの分野に詳しい方々に複数回にわたり来校いただき、具体的なアドバイスをいただいております。



### 【生徒の振り返りより】

- ・今回、アイデアがあまり出なかったけれど、次回は地域の方に小路についての資料を持ってきてもらえるみたいなので楽しみです。
- ・実現するために、お金をどうするのかという課題を、地域の方の意見を聞きながら、次の授業で解決していきたい。
- ・昨年の1年生の企画書を参考にし、イラストをつけたり、字を大きくしたりなどの工夫をしていきたい。
- ・ゲストティーチャーの方と一緒に、昨日は考えることが難しかったものを考えたり、アイデアが広がったりしたので良かったし、いろいろな話を具体的に聞けました。



## 「魅力ある学校」の実現！～地域とともに～河内小

3・4年生が総合的な学習の時間に、「河内ハブソウグループ」さんの作業の様子を見学に行きました。作業部屋に入った瞬間、ハブソウ茶のいい香り。「あっ、飲んだことがあるにおいだ！」と子ども達がつぶやきました。

今回は炒ったはぶそう茶の袋詰め作業を体験させていただきました。小袋に4gずつ計って入れていきます。教えていただきながらみんな夢中になって作業をしました。

作業の後は、試作中の「ハブソウ茶」で作ったゼリーの試食もさせていただきました。3・4年生は「河内自慢」というテーマで学習を積み重ねてきていますが、また新たな河内地域の自慢になる特産物の学習をすることができました。



## 作って楽しいサイエンスショー！ 三次小



11月30日(木)と、12月5日(火)に「作って楽しいサイエンスショー」をしました。広島国際大学教授の寺重隆視先生(三次市出身)に来ていただき、全員が実際に工作しながら、理科の不思議さを感じる活動を行いました。事前に打ち合わせにも来ていただき、低学年、中学年、高学年に分かれて、学年に応じた内容を計画していただきました。

低学年は「クリスマスやじろべえ」ということで、つり合いと静電気について学ぶものでした。かなり手間のかかるものでしたが、1・2年生は90分間集中し、粘り強く作成していました。寺重先生も「低学年なのに、よく集中が続きましたね。」と感心して頂きました。

中学年は「音を伝えよう～糸電話・針金電話・ホース電話～」という内容で糸電話を作り、音の伝導を感じる内容でした。30mの長さのホースとじょうごを使ったホース電話も空気の振動、音の拡散を無い状態にすることで声が聞こえました。児童だけでなく職員もびっくりしていました。

高学年では「手のひらクリスマスゴーランド～上昇気流で回る～」という内容でした。高学年も一心に作業に取り組んでいました。わずかな手のひらの体温で上昇気流で羽が回転し始めると「回った～」と不思議そうに眺めていました。ストーブのそばに持って行って回るかどうか確かめる児童もいました。「接しているところをつまようじではなく、針にしたのはどうしてでしょう？」という先生の質問に「うーん。」と考えていました。

わずかな体温による上昇気流と摩擦について学んだ実験でした。今回のサイエンスショーは、全校児童一人一人が実際に作成し、理科の不思議さを体感する時間になりました。



「ともえ 2040」へのご意見やご感想、子育てやまちづくりに関するご意見等を自由にお寄せください。

【問い合わせ・意見送付先】市立三次中学校 TEL 0824-62-2896 FAX 0824-62-2899

E-mail miyoshi-j@school.miyoshi.hiroshima.jp